様式２

運営企画書

１　学齢期発達支援事業所の概要（予定）

（１）所在地

（２）利用定員

　　　人

（３）職員体制（予定）

　　職員数　　　　名（常勤　　　名、非常勤　　　名）

資格及び人数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 資格 | 常勤人数 | 非常勤人数 | 合計 |
|  | 　　　　名 | 　　　　名 | 　　　　　名 |
|  | 　　　　名 | 　　　　名 | 　　　　　名 |
|  | 　　　　名 | 　　　　名 | 　　　　　名 |
|  | 　　　　名 | 　　　　名 | 　　　　　名 |

　（４）協力予定医療機関（複数の場合は別表を作成し、添付すること。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 | 種別 | 所在地 |
|  |  |  |

（５）規模・構造

　　　　※別紙にて本事業を実施する場所の見取り図を添付してください。

　　　　延床面積　　　　　㎡

建物構造　　　　　　　　造　　階建て

２　学齢期の発達障害児支援の実績について記入してください。

３　学齢期発達支援事業の運営方針等についてご記入ください。

（１）学齢期発達支援事業の運営について

①事業所の運営方針、事業展開、個人情報の取り扱い

②通常時、緊急時の医療機関との連携

③事業所の衛生管理

（２）職員について

①職員体制（採用方法、経験、雇用形態）

②職員の研修計画

※　別紙にて学齢期発達支援事業の責任者の経歴書及び資格証明書（写）を添付すること。

※　別紙にて心理職職員の経歴書及び臨床心理士又は臨床発達心理士又は公認心理師の資格証明書（写）又は学校教育法の規定による大学の学部で、心理学を専修する学科若しくはこれに相当する課程を修めたことを証明する書類（写）及び雇用時間を証明する書類（写）を添付すること。なお応募申込時に心理職職員の雇用ができていない場合は、雇用計画書を添付すること。

４　学齢期発達支援事業の実施について記入してください。

（１）支援計画の作成、見直し、保護者への説明について

（２）利用者（発達障害児）への支援について

①個別指導と集団指導の考え方

②利用者（発達障害児へ）の療育プログラム、療育時の配慮（コミュニュケーション等）

（３）保護者への支援、虐待防止の対応について

（４）学校との連携の考え方について

（５）利用者（発達障害児）の評価（評価方法、支援への活用、フィードバック）について

５　危機管理体制について

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定や、非常時の対応における保護者、職員への周知について記入してください。

６　事業者独自の発達支援プログラムについて

（１）学齢期発達支援事業の利用者に対し、本事業とは別に事業者独自の発達支援等のプログラムを実施する予定はありますか。いずれかの□にレ点をしてください。

　□予定はある

□予定はない

（２）上記（１）の「予定はある」に該当する場合、独自プログラムの構成内容、料金設定についてご記入ください。